

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立玉湯小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

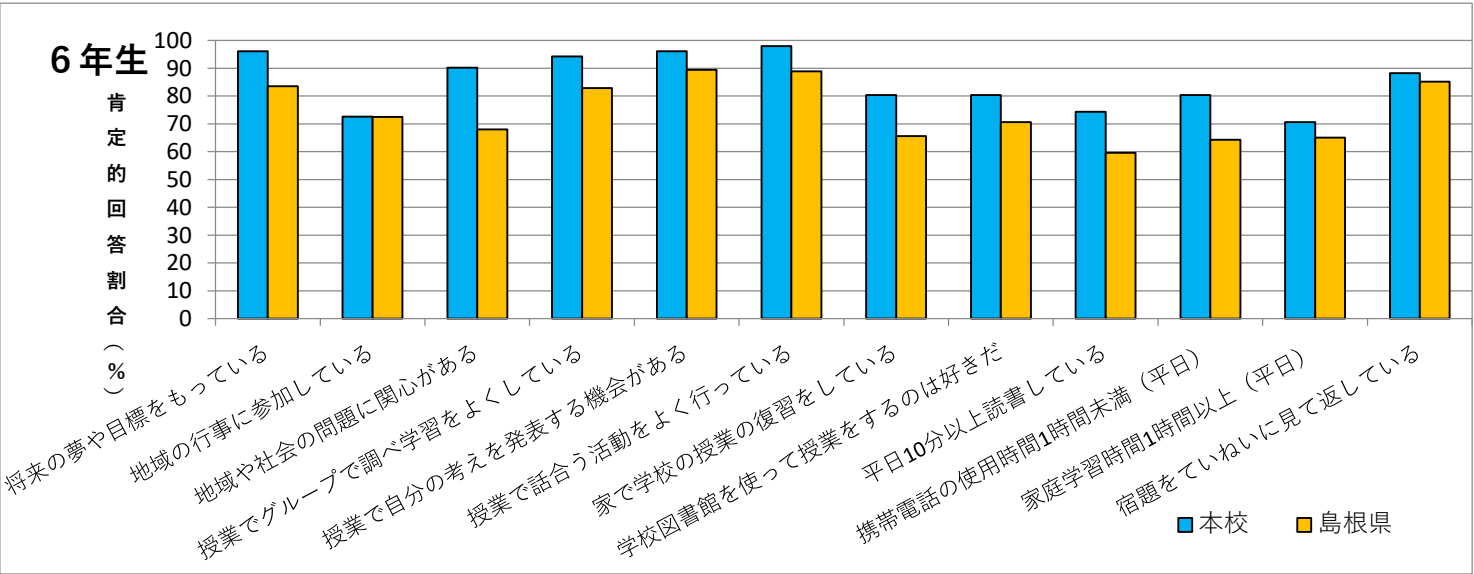
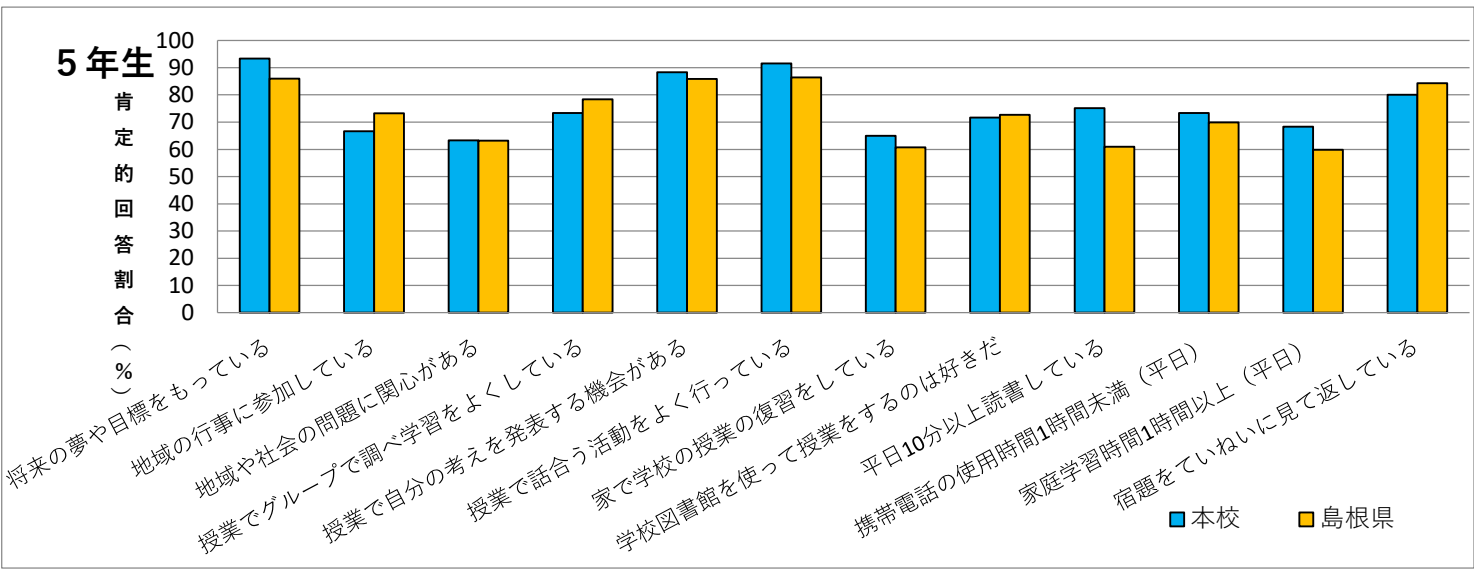
		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○漢字の読み書きが定着している。 ○書く力がついてきている。 ●ローマ字の読み書きが定着していない。 ●資料を読み比べて考えることに課題がある。 ●「引用」等の言葉の意味が理解できていない児童がいる。	・ローマ字に触れる機会を増やし、宿題や自主学習などに取り入れる。 ・説明的な文章だけでなく、文学的な文章を題材とした授業でも、引用したり要点をまとめたりする学習を行う。 ・並行読書により文章の読み比べを取り入れる。
	算数	○算数が面白いと思える児童が増えていることから、わかるようになったという実感がもてるようになっていいると考えられる。 ●基礎基本の技能の定着が不十分である。 ●図形領域の問題の正答率が低い。	・計算の過程を説明することにより、どこで間違えたのかを確認する。 ・個々の具体的な図形から性質や特徴などを一般化していく過程で説明活動を行う。 ・以上の学習を、低・中学年でも徹底して行っていく。
6年	国語	○「書く」領域の正答率が県平均を上回っている。社会の学習等で、表やグラフなどの読み取りを丁寧に行っていることが、資料を読み取って書くことに生かされたのではないかと。 ●文章の読み取りに課題がある。 ●記述式の問題、活用問題の正答率が低い。	・日頃から辞書を引く習慣をつけることにより、語彙を増やしていく。 ・読書時間を増やすことにより、長文や初めて読む文章を読み取る力を育てる。 ・自主学習の内容に、新聞等を読んで内容をまとめたり、自分の考えを書いたりする活動を取り入れる。
	算数	○基本的な計算の技能は身につけている。 ●計算の決まり、図形の定義等の理解に課題がある。 ●問題の場面設定や題意が正確に読み取れない児童がいる。 ●式の意味を説明することが苦手である。	・図形の定義の理解に至る説明活動などを大切にするとともに、基本的な問題に繰り返し取り組むことにより定着を図る。 ・式に使われている数値の意味や、演算決定の理由などを説明する活動を、低・中学年の頃から繰り返し授業に取り入れる。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

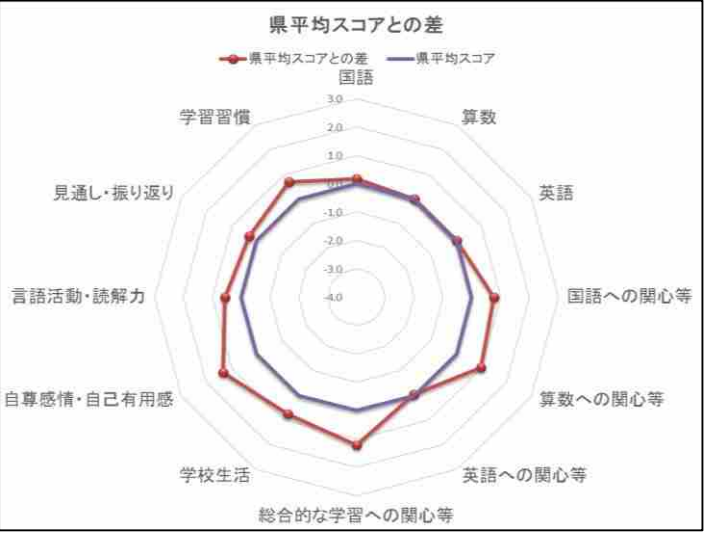
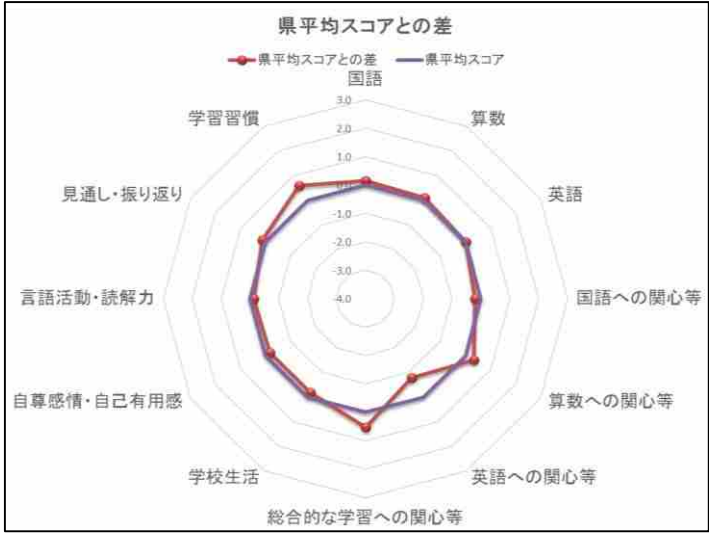
		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○めあての確認→伝え合い→振り返りという流れが、子どもたちに浸透し、定着してきていることがうかがえる。 ●算数の学習を生活の中で活用していく意識に課題がある。 ●外国語に分かりにくさを感じている児童がいることが、「英語が好き」と答える割合の低さにつながっていると思われる。	単元の終末の発展問題として、他教科や日常生活との結びつきが考えられるような問題に取り組む場を設定する。 聞く・話す活動を重視し、児童が英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める楽しい活動となるよう、授業の流れや指導方法を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○「宿題をしている」と100%の児童が答えており、家庭学習の習慣が身につけている。 ●「自分で計画を立てて勉強している」「授業の予習・復習をしている」と答える児童の割合が低い。	自主学習の内容について、「授業で学んだことの復習」「発展」「これから学ぶことについての予習」といった位置づけで個々の取組を紹介し、意識づける。
6年	授業改善に関わる事項	○総合的な学習で、地域について学んだことを生かして、どんな町にしていきたいかを発信する活動を行ったことにより、地域や社会の問題に関心をもつ児童が増えたと考える。 ●地域の行事には全員が参加しているはずなのに、地域の行事に参加していると答える児童が7割に満たない。	参加している行事の意義や位置づけ、参加の心構えなどを丁寧に伝えることにより、地域への所属意識や行事への参加意識をもたせるようにする。
	家庭学習に関わる事項	○宿題や復習に真面目に取り組んでいる。 ●予習、計画的な学習の進め方といった面に課題がある。	調べたことをまとめる学習などを活用し、見通しを立てて計画的に学習を進める経験を積ませる。予習的な要素を盛り込んだ自主学習を紹介するなどして、予習への興味をもたせる。

平成31年2月15日

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	66	57
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 60 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	70	59
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 51 人